

新除草・調節剤

ショウロン M 粒剤

CNP・ダイムロン除草剤

ショウロン M 普及会

(取扱メーカー) クミアイ化学工業株式会社
昭和電工株式会社
三井東圧農薬株式会社
三井東圧化学株式会社

対象作物：普通移植水稲，稚苗移植水稲。

性状・作用特性：本剤は，2,4,6-トリクロルフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル〔CNP〕9%，1-(α,α -ジメチルベンジル)-3-パラトリル尿素〔ダイムロン〕7%を有効成分とする類白色の粒剤である。

本剤の特長は，全国で最も問題となっているホタルイに対し，雑草の発生前から発生始期の処理ですぐれた効果を示すことはもちろん，ノビエ，マツバイ，広葉雑草に対しても安定した効果がある。また，稚苗，成苗を問わず，田植前より安全に使用できることにより，適期散布ができ，かつ土壌条件および気象条件などによる影響が少なく，全国各地で安心して使用できる。

本剤の使用特性は，CNPが非ホルモン接触型で，主として雑草の幼芽部に，ダイムロンが非ホルモン吸収移行型で，主として根部に作用し，CNPとダイムロンの協力作用により，雑

草の発生始期に強力な殺草効果を示す。

毒性：本剤の人畜および魚貝類に対する毒性はともに低く，それぞれ「普通物」「A類」にランクされる。急性経口毒性は，マウスに対してLD₅₀ (mg/kg)で，CNP：1,000以上，ダイムロン：6,500以上，ラットに対してLD₅₀ (mg/kg)で，CNP：10,000以上，ダイムロン：4,000以上である。急性経皮毒性は，ラットに対してLD₅₀ (mg/kg)で，CNP：10,000以上，ダイムロン：3,500以上で何れも普通物である。魚毒性は48時間コイトLmで，CNP：290 ppm，ダイムロン：300 ppm以上で，何れもA類である。

使用方法：代かきは丁寧にし，処理時には深水にならぬように湛水し，10a当り製品で3～4kgを均一に散布し，移植後は7～10日間は比較的に浅水に管理する。

使用上の注意：①本剤の処理時期は，雑草の発生前から発生始期（ホタルイの発生始め，ノビエの1葉期まで）が有効なので，適期に処理すること。②水深は，少なくとも処理後3～4日間は普通の水管理（水深3cm程度）を保ち，田面を露出したり，水をきらさないようにし，かけ流しをさける。③砂質土および極端な漏水田での使用はさける。④軟弱苗のときは使用しない。

対象作物	適用雑草	使用時期	適用土壌	10a当り使用量	使用方法	適用地帯
普通移植水稲	ノビエその他水田一年生雑草およびマツバイ，ホタルイ	植代後，田植前3日～田植後7日 〔ノビエ1葉期，ホタルイ発生始まで〕	壤土～塩土 〔減水深2cm〕 〔ノ日以下〕	3～4kg	湛水散布土壌処理	全域の普通期，関東・東山早期栽培地帯，ホタルイ：関東・東山以北。
稚苗移植水稲						全域の普通期栽培地帯，ホタルイ：東北・北陸以北。